

5. 第二期コミュニティ評価委員会委員

任 期 平成16年4月1日 ～ 平成18年3月31日

	氏 名	所属・職名 又は 居住地域	備 考
委員 長	玉野 和志	首都大学東京都市教養学部准教授	
副委員 長	小原 隆治	成蹊大学法学部教授	
委 員	荒川 澄子	コミュニティ研究連絡会 会長	
	原 利子	コミュニティ研究連絡会 会計	
	皆川 栄司	公募市民委員（中町在住）	
	田中 雄一	公募市民委員（吉祥寺南町在住）	
	檜山 啓示	武蔵野市企画政策室長	平成17年12月26日まで
	南條 和行	武蔵野市企画政策室長	平成17年12月27日から

(敬 省 略)

資 料

- (1) 第二期コミュニティ評価活動内容・日程
- (2) アンケート調査抜粋
- (3) コミュニティセンター配置図
- (4) 平成16年度 コミュニティセンター利用実績



伝統子ども舞踊教室



利用者懇談会



どじょうつかみ大会



道路問題(交通量調査)

(1) 第二期コミュニティ評価活動内容・日程

平成16年度

回数	内 容	期 日	場 所	出 席 者	備 考
1	委嘱式、第1回委員会「第一期の評価及び第二期の活動方針と予定」	9月9日(木)	市役所 603会議室	市長、委員7名 事務局	19:00～21:00
	コミュニティ研究連絡会にて委員長から視察等の協力依頼	10月7日(木)	吉・東CC	委員長	
2	第2回委員会「第一期 コミュニティ評価の検証方法の検討(アンケート等について)」	10月27日(水)	市役所 603会議室	委員7名 事務局	19:00～21:00
3	コミュニティ協議会運営委員会視察・傍聴	11月9日(火)	吉・南町CC	委員長、皆川委員、事務局	19:00～20:45
4	コミュニティ協議会運営委員会視察・傍聴	11月10日(水)	けやきCC	荒川委員、原委員、事務局	13:30～16:00
5	コミュニティ協議会運営委員会視察・傍聴	11月10日(水)	中央CC	副委員長、皆川委員、事務局	19:00～21:00
6	コミュニティ協議会運営委員会視察・傍聴	11月11日(木)	本宿CC	委員長、田中委員、事務局	19:00～20:50
7	コミュニティ協議会運営委員会視察・傍聴	11月12日(金)	吉・西CC	原委員、皆川委員、事務局	19:00～20:50
8	コミュニティセンター文化祭視察 1	11月13日(土)	西部・関前 緑町・本宿	委員2名 事務局2名	市 1BOX
9	コミュニティセンター文化祭視察 2	11月21日(日)	境南・吉祥寺 西・御殿山	委員6名 事務局3名	市 マイクロバス
10	コミュニティ協議会運営委員会視察・傍聴	12月6日(月)	吉・北CC	荒川委員、原委員、事務局	13:00～15:00
11	コミュニティ協議会運営委員会視察・傍聴	12月7日(火)	緑町CC	副委員長、田中委員、事務局	19:00～21:00
12	コミュニティ協議会運営委員会視察・傍聴	12月17日(金)	境南CC	荒川委員、榎山委員、事務局	19:00～21:00
	第一期 評価の検証アンケート調査を各コミュニティ協議会に通知	11月11日(木)～ 12月24日(金)		各コミュニティ協議会	
	各コミュニティ協議会から提出のアンケート結果について検討	1月17日(月)	市役所 604会議室	正・副委員長 事務局	
13	第3回委員会「第一期 コミュニティ評価の検証及び第二期 評価に向けての課題の検討」	1月26日(水)	市役所 801会議室	委員7名 事務局	19:00～21:00
14	第4回委員会「第二期の評価方法の検討」 評価活動の具体的なイメージ	3月22日(火)	市役所 801会議室	委員7名 事務局	19:00～21:00

平成17年度

回数	内 容	期 日	場 所	出 席 者	備 考
15	第5回委員会「第二期の評価方法の検討」 評価活動の具体的なイメージ	5月24日(火)	市役所 603会議室	委員7名 事務局	19:00～21:00
	意見交換会事前打合せ	6月21日(火)	商工会館 3階 講座室	正・副委員長 事務局	15:00～16:30
16	運営委員と評価委員との意見交換 会	6月29日(水)	商工会館 市民会議室	コミュニティ64名 委員7名 事務局	19:00～21:00
17	第6回委員会「評価の観点を作成」 自己点検・評価表作成	7月 4日(月)	商工会館 3階 講座室	委員7名 事務局	19:00～21:00
	コミュニティ協議会委員長へ評価の説明及び 自己点検・評価表を手渡す	8月23日(火)	市役所 802会議室	コミュニティ委員長 評価委員会委員長 事務局	16:00～17:00
	コミュニティ評価活動	8月下旬～ 9月30日		各コミュニティ協 議会	
18	第7回評価委員会「視察・傍聴日程 調整」「自己点検・評価表回答結果」	10月14日(金)	市役所 603会議室	委員7名 事務局	19:00～21:00
19	コミュニティ協議会運営委員会視察・傍聴	10月11日～ 12月14日	各コミセン	評価委員	
20	第8回評価委員会「意見交換会に向け て」	11月10日(木)	市役所 603会議室	委員7名 事務局	19:00～21:00
21	コミュニティセンター文化祭視察 1	11月12日(土)	4コミセン	評価委員 事務局	市 1BOX
22	自己点検・評価後の意見交換会 ①	11月15日(火)	公会堂第1・2 合同会議室	5コミュニティ協議会 委員6名 事務局	19:00～21:00
23	コミュニティセンター文化祭視察 2	11月19日(土)	5コミセン	評価委員 事務局	市 1BOX
24	自己点検・評価後の意見交換会 ②	12月 6日(火)	公会堂第1・2 合同会議室	6コミュニティ協議会 委員7名 事務局	19:00～21:00
25	自己点検・評価後の意見交換会 ③	12月 8日(木)	商工会館 市民会議室	5コミュニティ協議会 委員7名 事務局	19:00～21:00
26	第9回委員会コミュニティ評価のまと め	1月16日(月)	市役所 607会議室	委員7名 事務局	19:00～21:00
	市長へ報告書提出	3月23日(木)		正・副委員長 事務局	12:30～12:45
	コミュニティフォーラム	3月29日(水)	スイングホール レインボーサロン	コミュニティ協議会 委員7名 事務局	19:00～21:00

(2) アンケート調査抜粋

第一期コミュニティ評価に関する検証アンケート調査

調査項目 1

第一期評価委員会の「評価の目的と指針」（「第3期コミュニティのあり方懇談会報告」P34）についての評価・感想は次のうちどれにあてはまりますか？該当する項目に○をつけ、必要に応じてその理由をご記入ください。

回 答

① よくまとまっております	2	
② おおむね妥当だと思う	11	
③ どちらともいえない	1	
④ あまり妥当とはいえない	1	
⑤ 妥当とはいえず再検討が必要である	0	
⑥ 無回答	1	計16協議会

調査項目 2

第一期評価委員会の「共通課題」（「コミュニティ評価委員会報告書」P6～9）の7項目（①運営委員・協力委員の確保②コミュニティ活動や施設管理への参加・促進③窓口対応の工夫④利用の制限⑤参加の原則（会則）⑥事業・企画の工夫⑦コミュニティのあり方）について、今後のコミュニティ活動の活性化の課題として有効と思われますか？該当する項目に○をつけ、必要に応じてその理由をご記入ください。

回 答

① 今後の課題として有効と思われる	2	
② おおむね有効と思われる	9	
③ どちらともいえない	4	
④ あまり有効とはいえない	0	
⑤ 有効とはいえず再検討が必要である	0	
⑥ 無回答	1	計16協議会

調査項目 3

第一期評価委員会の評価と課題の指摘などにより、今後のコミュニティ活動を進めていく上で参考になったと思われる成果は次のうちどのようなことですか？（複数回答可）

回 答

- | | | |
|-------------------------------|---|----------|
| ①今までの活動に自信が持てた。 | 8 | |
| ②困っていた点、悩んだところに回答が得られた。 | 2 | |
| ③良い点も悪い点も含めて気づいていなかったところが分った。 | 5 | |
| ④改善すべきところが明確になった。 | 5 | |
| ⑤今年度の活動計画の参考になった。 | 8 | |
| ⑥参考になることは特になかった。 | 2 | |
| ⑦その他（具体的に） | 6 | 計 14 協議会 |
- ・ 他のコミセンの活動を自己評価を通して見ることで、自分のコミセンの解決すべき問題点や、解決方法のヒントを得られた。
 - ・ コミュニティ活動にもっと広い視野と触覚を働かせ、地域の方々との共働を活発にしてゆきたい。
 - ・ 共通の課題が認識出来、今までの活動に自信を持ち積極的に推進していきたい。
 - ・ 地域の中心として利用され地域全体で支えてきた実績を認められた点、更なる展開を期待された点、地域全体の課題に取り組む部分の強化を示唆された点など。

調査項目 4

第一期評価委員会の評価と課題の指摘などにより、今後のコミュニティ活動を進めていく上で参考にならないと思われる点は次のうちどのようなことですか？（複数回答可）

回 答

- | | | |
|---------------------------|---|----------|
| ①理解できない評価や課題があった。 | 5 | |
| ②もう少し具体的な評価・課題指摘をしてほしかった。 | 6 | |
| ③見当違いと思える評価・課題指摘があった。 | 5 | |
| ④実行不可能と思われる評価・課題指摘があった。 | 0 | |
| ⑤困っている点や悩みに的確に答えてもらえていない。 | 3 | |
| ⑥参考にならないことは特になかった。 | 6 | |
| ⑦その他（具体的に） | 8 | 計 14 協議会 |
- ・ コミセン間の格差が見えにくいような評価であったため、当コミセンの積極活動者の中にはもの足りなさを感じた人もあった。
 - ・ 協議会に対し、具体的に事例を示し、今後の方針についてももう少し突っ込んだ指摘をして欲しかった。

調査項目 5

第一期評価の内容（「各コミュニティ協議会の評価と課題」など）について、全体的な感想をお聞かせください。（記載しきれない場合は別紙添付願います）

① 吉・東 CC

「コミュニティは様々だ」ということを改めて感じた。

自己評価の基に実施された「自己点検・自己評価」が、公共性を意識して、自分たちのやり方に対して、自己変革していける根拠となるかということ、まだ自己に甘い部分が多く、中途半端な感があるのは否めない。

しかし、センター運営委員だけでなく、地域「コミュニティ」の中で、徹底的に課題を話し合えるなら、評価の存在は評価できる。

② 本宿 CC

番号順に16コミセンの評価が出ていると、それぞれ他のコミセンと比較検討されているようで愉快ではない。

本宿コミセンに関しての評価と課題中「不特定多数の人々が訪れているようである。そのためコミュニティ施設というよりも一般的な施設として利用する意識の人が多く・・・」とあるが、利用者の大部分は住民で、コミセンはコミュニティ住民にとっての社交場であり、会話の場所である。単なる部屋貸し用の箱物ではありません。我々運営委員も又、単なる部屋貸し屋の管理人ではない。

③ 吉・南町 CC

評価委員の皆様には敬意を表すが「コミュニティ条例」の成立過程を考慮頂き、進め方他にについてももう少し各コミセンとコミュニケーションを図って欲しい。

「・・・評価結果を示したものではない。あくまで評価活動の過程で感じた点を簡単にまとめたものにすぎない・・・」ということで、コミセン事業を実際に見ての評価ではない為、運営委員として参加している者にとってはもの足りない評価なのかもしれない。

共通課題や市民アンケート調査結果は、分かり易く、今後もアンケートは継続してほしい。

④ 御殿山 CC

評価の内容は、自己評価で述べた事が殆んどと言って良く、一味違う評価と課題の指摘が欲しいと思った。しかし、今回が初めての評価活動という事を思えば、委員の苦勞も察することもできるし妥当な表現かなとも思った。

我々が評価委員に充分なじまないうちは、無理に踏み込んだ評価はしない方が良いと思う。

⑤ 本町 CC

短期間での報告書作成の評価委員会と、評価を受ける協議会双方が、評価という未経験の中でここまで議論しあえたことに総合的な評価の価値を実感する。

⑥ 吉・西 CC

現状再認識・問題把握は今後の活動の参考になる。

自分の地域の特徴を知った。

各コミセン共通の基本的なあり方や指針。また、個別に具体的なアドバイスについて評価委員会には期待する。

⑦ 吉・北 CC

コミュニティ協議会は、各々の地域的な環境によって異なっており、コミセンの現状認識が不足していると思われる。また、先般の自己評価がすべて云い表わしているものではなく、真の実態を理解してもらう必要がある。

評価委員の方々は、時間の許す限り、コミセンの現場を見て評価にプラスして欲しい。

⑧ けやき CC

第一期委員会は各協議会の主体性を尊重するよう気を使っていたところが評価できる。

手間をかけて各協議会が話し合いの結論を出せるよう進められてよかった。

本人（協議会）が自覚しないと他から指摘されただけでは改善と結びつかないことも多いので、本人達が話し合い気がつくことが大切なので、あまり踏み込まない方法をとったのはよかった。

⑨ 中央 CC

なし

⑩ 西久保 CC

外部の方（評価委員さん）から評価を受け良かったと思っている。自己満足ではないが、皆さんの為と考えていることが、一人よがりになってはいないかなど、心配の面が多少あった。

⑪ 緑町 CC

各協議会のいい面と問題点を挙げて、今後とるべき方向について、委員会の考えを参考意見のかたちで記述する形式で統一されているが、内容は委員自らの調査結果に基づいた見解かどうか。作成に当たっては現状を委員が良く見てほしい。全体的に少し作文的な感じを受ける。

⑫ 八幡町 CC

全般的なコミュニティ活動の意義と態様の分析は、学者的で参考になった。

各コミュニティ協議会の評価と課題は、短文の中での確に指摘されている。

もう少し具体的な評価と課題の指摘がほしかったとも言える。自己評価と自己課題設定によって協議会自身が研鑽すべき事柄だと思った。

⑬ 関前 CC

全般的にかなり理解されていると思った。

⑭ 西部 CC

自主3原則を運営の基本とする以上、評価委員会で運営の評価をしたり、一定の運営の基準らしきものは作るべきではないと思う。(市の出先機関では無いから) 運営について一定の基準を求めらば、市が管理者を常駐させて運営に当る組織にしては如何か。

自己評価と称し回答を求めたり、アンケートと称し調査しないと書けない面倒なもの(この調査)は控えて頂きたい。ボランティアという自主的団体に過大な期待や、要求をしないで欲しい。

⑮ 境南 CC

提出した自己点検・評価表を、積極的な評価姿勢で読みとっていただいたというのが感想である。

「タイプ別コミュニティの特徴」における分類は、私たちの活動を振り返って見るうえで大変参考になる整理のしかただと思う。また市民一般の方々にも、コミュニティ活動に理解を深めてもらうにも有効である。「共通課題」も前述のとおり理解しやすい形で諸問題が整理されている。

「各コミュニティ協議会の評価と課題」については最も私たちの関心が高い部分である。各協議会の特徴に沿った評価を中心に書いているが、個別な論議や実地点検等の時間が必要である、もう少し色々な観点から評価を加えても良かったかと思う。

⑯ 桜堤 CC

各協議会の活動状況を把握され、その上当協議会について妥当な評価を頂き感謝している。

従来のコミュニティの形に捕らわれず、新しいコミュニティの理念を折りこんでいる。

第三者による評価が入れている。

調査項目 6

第一期評価の課題指摘事項などに基づいて、各協議会でそれらを活動計画などに反映させたり活用したことがありますら教えてください。(記載しきれない場合は別紙添付願います)

① 吉・東 CC

「地域課題」にコミュニティ協議会として取り組むことが、間違っていないとっていただき、よりやりやすくなったと思う。地域の中でのコミュニティ協議会は、地域意思を代表しているような、ないような、微妙な存在である。あらためて広報活動の重要性を再確認している。

② 本宿 CC

先輩諸氏から引き継いで来た多くの自主的行事を例年地道に行っている。これらをマンネリ化と言う人があるかもしれないが。その他の面で部屋を利用している人達が協力して、諸々の行事を盛り立ててくれる。コミセンは目新しい行事を次々行なわなくとも、部屋貸しでもコミュニティ市民の社交場であれば、それでいいと思っている。

③ 吉・南町 CC

委員選出、委員の役割、事業内容やその進め方について役立つ内容が含まれており、「共通課題」の中には参考にすべき内容が多くあげられていた。

運営委員は、住民との話し合い、住民が満足するような事業や施設の利用を目指す必要がある。

④ 御殿山 CC

今まで活躍していた運営委員が他の地区へ移転した場合、ただちに委員を辞めさせなければなかったが、本人の続ける意志がある場合は運営委員として残れるような方策を検討したいと思う。

⑤ 本町 CC

今後活用してまいります。評価報告書にもあるとおり、当協議会は課題解決型であり、今後も断続的な商業者との協力関係を築きつつ新たな展開をしていきたいと考えている。

⑥ 吉・西 CC

パソコン学習会のサポーターやホームページの管理に携わる若者や、井の頭こどもクラブの父母がコミセン祭りに参加するなど兆候も出てきた。

⑦ 吉・北 CC

地域8団体との交流会を毎年持って、地域的な課題の発見・解決の為、お互いに情報交換、相互啓発を行っている。また、今後とも続けて行きたいと思っている。

利用者とコミセン委員との間の意志交流を図る為「人の和と輪の気持ちを大切に」を掲げている。運営に携わる委員の意識、考え方にもっと新しい変革が出て来ることを望みたい。

⑧けやき CC

評価の手法で役立ったのは、大切なことは目標を決めること。何のためにその企画（イベント）を実施するのか？ということがこれほど大切な意味があるかを実感した。

『来た人に楽しんでもらう』『達成感を味わってもらう』そういう活動を通して次のけやきを担う人を育て、コミュニケーションを深めていくことが大切と話しあった。

⑨中央 CC

なし

⑩西久保 CC

なし

⑪緑町 CC

今回の指摘事項の中で、以前からすでに実行している内容が幾つかあり、この報告書の指摘を活用した事項は特に無かった。

⑫八幡町 CC

指摘された施設上の困難さは、出来るだけ早く改善するように一層努力することを確認している。葬儀使用の優先は、維持しなければならない。わがまちのルーツを探る活動が認知され、自信を高めて広げている。

北ホール利用の改善は、困難な条件を持つてるが、利用者懇談会を開催して改善に努めたい。

⑬関前 CC

なし

⑭西部 CC

なし

⑮境南 CC

従来より専門部会を設けている。前年度までスポーツ活動委員会、IT 活動委員会を設置して、広く実行委員を募ることに留意し、その実挙げる事ができた。今年は新たに自主防災特別委員会を発足させた。地域の人達のこの問題への関心も高まったのを機に活動を開始したものである。

協議会は、市全体にネットワークを持っている地元諸団体との連携を一段と高め、地域全体の課題を捉えて行く考えである。

⑯桜堤 CC

17年度の活動計画を立てる時に、他の協議会の活動も参考に出来たらいいと思う。

調査項目 7

今後、第二期評価を進めるにあたって、評価手法などについて改善や工夫すべき点などご提案やご要望がありましたらご記入ください。（記載しきれない場合は別紙添付願います）

① 吉・東 CC

評価を受けるなら、自分たちの「活動の内容」「意気込み」「思い」をアピールすればよい。自己評価は、様々な留意点を与えられた上で、それについて自分たちの活動を振り返ってみてどうだったかと言うことで初めてできるのではないかと思う。

② 本宿 CC

評価イコール考課が浮んで常に監視、査定されている心地がしてならない。
第二期評価委員会の委員の皆様とは心から打ちとけた気持ちでお話しがしたい。

③ 吉・南町 CC

- ・「コミュニティセンターとは何か」「これからの望ましい姿とは何か」等の規定（定義）
- ・コミュニティセンターを構成・影響する要因は何か（構成・影響要因分析図）
- ・コミュニティセンターの対策すべき課題は何か（対策要因分析図）
- ・コミュニティセンターの運営管理に必要な資源要素とその内容基準はいかなるものか

④ 御殿山 CC

無理に踏み込んだ評価は必要とは思いません。特に今年は指定管理者制度導入の年でもあるので、尚更思わない。

⑤ 本町 CC

概ね評価委員にお任せいたしますが、評価委員会の中で協議会にアンケートやご質問などを求める場合、回答に時間を要するものよりも、方法を容易な書式なものにならないか。

⑥ 吉・西 CC

- ・評価期間は4～5年に1回が良い
- ・利用者の声も聞き、プロとしての指導評価を期待
- ・各コミセンとの個別、直接対話と調査が良い
- ・コミセンは行政、市民に対してどう活動すればよいか参考になる評価を要望

⑦ 吉・北 CC

コミュニティ三原則に止まらず、地域コミュニティ構想を改めて議論する必要があると思う。
評価委員に、日常の活動をもっと見てもらい、時には辛口の評価もあって良いと思う。

⑧けやき CC

- ・地域ニーズの顕在化と対応の手法や地域諸団体や人材ネットの構築
- ・子供や青少年のコミュニティ参画とネットワークの重層化
- ・評価を客観化する

⑨中央 CC

各コミセンの運営・企画等私共と同様の部分、違っている部分は、参考になる点もあった。しかし、運営委員のコミュニティ活動に対する意識が希薄になり、有料である窓口業務に重きを置くきらいがある。「何故コミュニティ活動に参加したのか。」基本の部分を話し合う必要性を感じます。

⑩西久保 CC

報告書の地域の人口の図は必要ないように思う。地域外の方の利用も多い。

⑪緑町 CC

- ・評価委員の方は直接協議会の活動を見て、提言を頂きたい。
- ・協議会には共通する問題や独自の問題についてもフィールドワークをして頂けないか。
- ・評価委員の学者の方達と「コミュニティ活動」についての話合いの場は作れないか。

⑫八幡町 CC

評価委員会の中で研連代表の委員の果たす役割は重要で、定例会議で意見交換を行った方が良い。また、他の委員、とりわけ、市民代表委員と研連メンバーないし、あり方懇（各 1～2 名）で、意見を交換する機会を複数回持つことが有効だと考える。

⑬関前 CC

定例会、イベント等に評価委員の参加を今後共続けて欲しい。

⑭西部 CC

なし

⑮境南 CC

協議会側の意見が早速取り上げられ、文化祭や定例会の視察が実施されたのは大変結構だった。自己点検・評価表の内容を基にした評価は、私たちの反省の機会という点で意味があった。

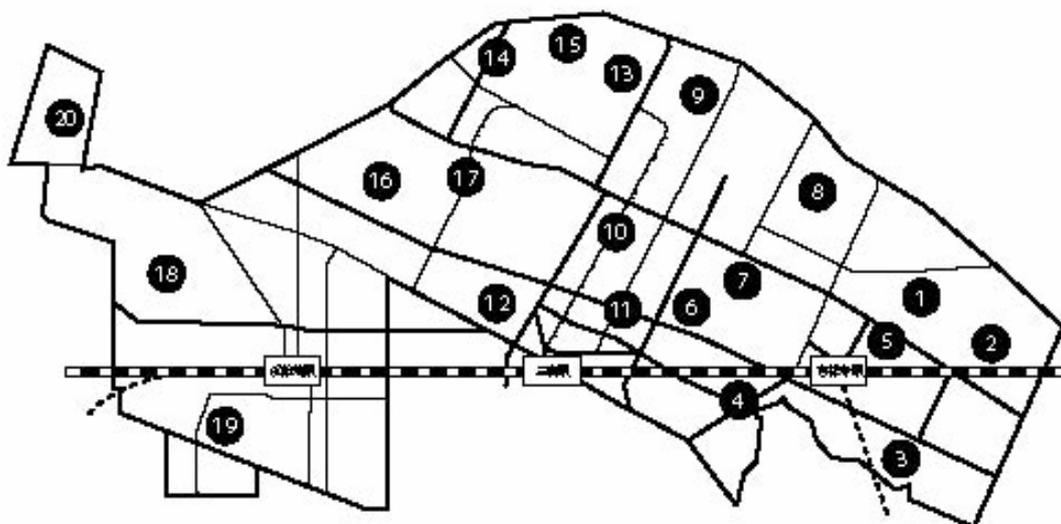
⑯桜堤 CC

運営委員会の経験が浅い人とか、高齢の方がいるので、一概には言えないが、日常はコミュニティ活動をしている、コミュニティ活動の目的とか指針を理解していない方もいる。

評価の設問はなるべく具体的に、回答は○×式にして欲しい。

(3) コミュニティセンター配置図

武蔵野市には、公設民営のコミュニティセンターが17館と分館など3館あります。「コミセン」という名で親しまれ、多くの方々に利用されています。管理運営は、各地域のコミュニティ協議会が指定管理者として委任されております。



- | | |
|--------------------|---------------------|
| ① 吉祥寺東コミュニティセンター | ⑪ 中央コミュニティセンター中町集会所 |
| ② 本宿コミュニティセンター | ⑫ 西久保コミュニティセンター |
| ③ 吉祥寺南町コミュニティセンター | ⑬ 緑町コミュニティセンター |
| ④ 御殿山コミュニティセンター | ⑭ 八幡町コミュニティセンター |
| ⑤ 本町コミュニティセンター | ⑮ 武蔵野中央公園北ホール |
| ⑥ 吉祥寺西コミュニティセンター | ⑯ 関前コミュニティセンター |
| ⑦ 吉祥寺西コミュニティセンター分館 | ⑰ 関前コミュニティセンター分館 |
| ⑧ 吉祥寺北コミュニティセンター | ⑱ 西部コミュニティセンター |
| ⑨ けやきコミュニティセンター | ⑲ 境南コミュニティセンター |
| ⑩ 中央コミュニティセンター | ⑳ 桜堤コミュニティセンター |

(4) 平成16年度 コミュニティセンター利用実績

コミセン	開館日数 A	1日の予約区分 B	要予約施設数 C	利用可能最大件数 D=A×B×C	利用件数(予約施設) E	利用率% F=E/D	利用人数(予約施設) I	1日当りの利用人数 J=I/A	利用人数(フリー施設含む:概数) G	1日当りの利用人数 H=G/A
吉東	345	3	3	3,105	2,500	80.52	23,582	68.4	26,037	75.5
本宿	304	3	6	5,472	2,342	42.80	31,003	102.0	44,563	146.6
吉南	323	3	8	7,752	4,108	52.99	27,509	85.2	70,623	218.6
御殿山	305	3	5	4,575	2,124	46.43	21,413	70.2	28,433	93.2
本町	309	3	6	5,562	3,923	70.53	44,064	142.6	55,394	179.3
吉西	306	3	6	5,508	2,858	51.89	27,416	89.6	45,991	150.3
吉西分館	306	3	1	918	487	53.05	4,607	15.1	4,607	15.1
吉北	306	3	6	5,508	1,585	28.78	22,065	72.1	69,758	228.0
けやき	304	3	7	6,384	3,904	61.15	29,717	97.8	59,836	196.8
中央	305	3	8	7,320	4,214	57.57	61,525	201.7	105,397	345.6
中町集会所	301	3	3	2,709	1,643	60.65	13,760	45.7	13,760	45.7
西久保	344	3	10	10,320	6,634	64.28	83,949	244.0	83,949	244.0
緑町	306	3	5	4,590	1,975	43.03	21,614	70.6	45,332	148.1
八幡町	304	3	4	3,648	1,412	38.71	9,045	29.8	9,415	31.0
関前	303	3	5	4,545	1,997	43.94	16,409	54.2	33,701	111.2
関前分館	303	3	2	1,818	424	23.32	4,009	13.2	4,009	13.2
西部	307	3	12	11,052	3,905	35.33	36,866	120.1	36,866	120.1
境南	288	3	7	6,048	2,688	44.44	34,942	121.3	74,434	258.5
桜堤	309	3	4	3,708	1,214	32.74	13,975	45.2	26,159	84.7
北ホール	306	3	5	4,590	2,235	48.69				
合計	6,184			105,132	52,172	49.63	527,470	89.7	838,264	142.6

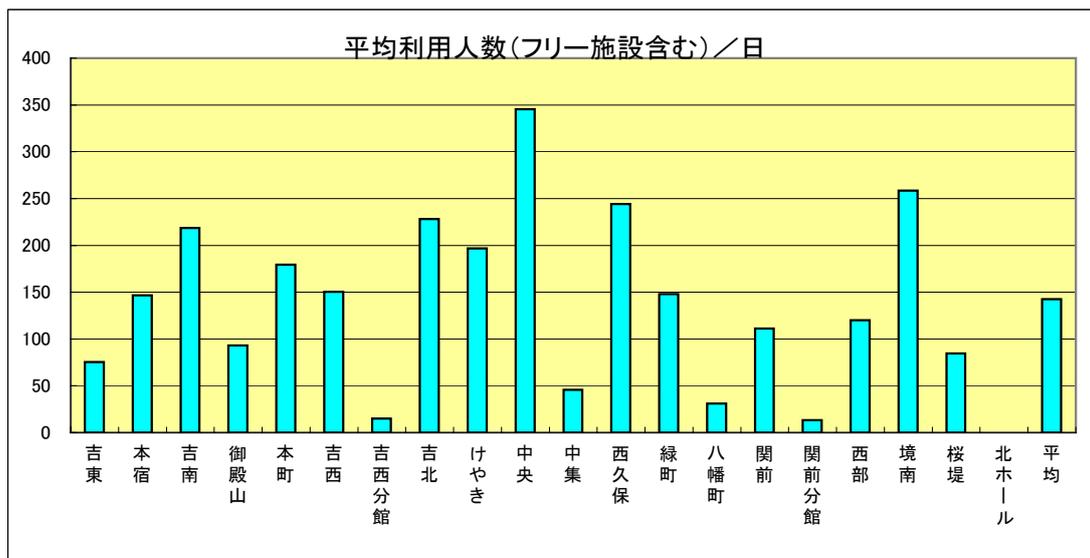
*印:フリー施設の人数集計なし

*

*

人数集計なし

(注)境南コミセンの利用件数及び人数は、7月20日から8月31日まで耐震補強工事により休館していたため、休館した43日間は算入していません。



(注)グラフは、コミュニティセンターの1日当りの利用人数をグラフ化したもので、人数集計の無いコミセン又は、利用可能施設の中で人数集計が無いフリー施設の利用人数は表示していません。

第二期 コミュニティ評価委員会

報 告 書

平成18年3月29日発行

事務局 武蔵野市企画政策室市民活動センター
〒180-8777 東京都武蔵野市緑町 2-2-28

電 話 0422-60-1830

FAX 0422-51-5638

Eメール cnt-siminkatsu@city.musashino.lg.jp